

2014年12月17日

デレク・ジーター氏 & 松井秀喜氏 参加

2015 ハイチュウ プレゼンツ

トモダチ

チャリティベースボールゲーム

TOMODACHI CHARITY BASEBALL GAME

Support Our Kids

特別協賛のお知らせ

2015年3月21日(土) 東京ドーム

森永製菓株式会社（東京都港区芝、代表取締役社長・新井 徹）は、2015年3月21日（土）に東京ドームにて開催されるチャリティベースボールイベント「2015 ハイチュウプレゼンツ トモダチ チャリティベースボールゲーム」に特別協賛いたします。

本イベントは、東日本大震災被災児童自立支援プロジェクト『Support Our Kids』のチャリティ、及び野球を通じて日米両国の子どもたちの親睦を目指すという趣旨に、元ニューヨーク・ヤンキースのデレク・ジーター氏と、その盟友・松井秀喜氏が賛同し、実現したイベントです。『Support Our Kids』の発起人でもある読売巨人軍の原辰徳監督が、ジュニア向けベースボールクリニックの総合プロデューサーを担われ、ジーター氏、松井氏をはじめとしたスペシャルメンバーが、子どもたちに夢の体験を届けるイベントです。

本イベントは、チャリティとして実施され、収益の一部は東日本大震災の被災児童の自立支援活動、特に海外へのホームステイ資金に充当されます。

森永製菓では、東日本大震災以降、森永製菓グループ従業員が発起人となつての義援金、被災地の小学校へのお菓子のお届けや絵本の寄付など、さまざまな形で「エンゼルのつばさプロジェクト」として被災地支援に取り組んでまいりました。このたび、『Support Our Kids』ならびに本イベントの趣旨に賛同し、本イベントに特別協賛をさせていただくこととなりました。

また、2008年から米国で販売を開始している森永製菓のチューイングキャンディ『ハイチュウ（米国での商品表記：Hi-CHEW）』が、メジャーリーグの日本人選手からの紹介をきっかけに、メジャーリーグの間で、長く噛み続けられるチューイング性と豊かなフルーツの味わいで話題・人気となっているというご縁もあり、本イベントには「ハイチュウ」の名を冠していただいております。

森永製菓は、本イベントへの特別協賛をはじめとして、今後も引き続き「世界中の子どもたちに貢献できる企業になる」の夢の実現に向けて社会に貢献できる活動に努めてまいります。

【イベント概要】



【イベント開催概要】

開催日時：2015年3月21日（土）

開催場所：東京ドーム、東京プリンスホテル（チャリティパーティーのみ）

主催：トモダチ チャリティ ベースボール ゲーム実行委員会

共催：Support Our Kids 実行委員会

特別協賛：森永製菓株式会社

協賛：三菱重工業株式会社、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社、
マツダ株式会社、RH トラベラー株式会社、他

協力：読売新聞社

後援：外務省

主管：i3 (Infinite Ideas International Limited)、ヒーローズエデュテイメント株式会社

*2014年12月17日時点

【イベントプログラム概要】

- プログラム① チャリティパーティー 於：東京プリンスホテル「鳳凰の間」
プログラム② ベースボールクリニック 於：東京ドーム
プログラム③ ベースボールマッチ 於：東京ドーム
プログラム④ ホームランダービー 於：東京ドーム

*上記イベント概要は調整事項を含むため、変更になる場合がございます。

【イベント出演者】



原辰徳氏



デレク・ジーター氏



松井秀喜氏

*今後、更に本イベントの趣旨に共感いただく方々のご参加を予定しております。

※本イベントのチケット販売、参加者募集につきましては、2015年1月下旬ころから「トモダチ チャリティ ベースボールゲーム 広報事務局」から告知開始予定です

＜参考＞ 米国におけるハイチュウ

森永製菓の「ハイチュウ」は1975年の発売以来今日まで40年近く、独特のやわらかな噛み心地とジューシーでフルーティな味わいで、ロングセラー商品としてお客様のご支持をいただいています。

森永製菓では、「ハイチュウ」を世界中の人々にもぜひ楽しんでいただきたいと考え、グローバル戦略の一つとして、2008年8月にカリフォルニア州アーバインに「Morinaga America, Inc.」（日本語名称：米国森永製菓株）を設立し、ロサンゼルス、サンフランシスコを中心とした西海岸から「Hi-CHEW」の米国での販売を開始しました。

日本やアジア系人口の多い西海岸では、日本から伝わる「ハイチュウ」認知も後押しし、品質特長である長く持続するチューイング性とジューシーなフレーバーが米国のお客様にも人気となって子供やティーンを中心に口コミで広まり、コンビニエンスストア、グロサリーストアなど多くの売場に定着しました。

現在、米国森永株では中西部から東部に向けた販売網構築に取り組み、全米を網羅する「Safeway」「Walgreens」等のスーパー、ドラッグストアへの導入開始など、順調な拡大を続けています

2015年には、ノースカロライナ州に2013年に設立した製造会社、「Morinaga America Foods, Inc.」（日本語名称：森永アメリカフーズ株）の工場が竣工、米国で初めての「Hi-CHEW」製造開始を予定しています。



▲米国で販売中の Hi-CHEW



▲グロサリーストア・キャンディ売場

メジャーリーガーと「Hi-CHEW」 出会いとつながり

「Hi-CHEW」とMLBの縁は、2012年にボストンレッドソックスの田澤純一投手がきっかけを作ってくださったものです。田澤投手がブルペン内のガムなどを置くスペースに「Hi-CHEW」を置いてみたところ、他の選手たちの間で瞬く間に大人気となり、あまりの人気に田澤投手から米国森永株に、

「Hi-CHEW」の提供が依頼されました。

練習や試合の合間、頻繁にガムを噛むMLBの選手たちに「Hi-CHEW」の長く持続するチューイング性（長く噛み続けることができ、柔らかい食感を楽しめる）と豊かなフルーツの味わい、噛みだしの柔らかさ、豊富なフルーツの種類、さらに出して捨てなくてもそのまま食べられるという品質特長は、「ガムの代わりになる」とも非常に喜ばれているようです。

MLBの選手間での「Hi-CHEW」人気は日米のWebサイトなどでも話題となり、米国のお客様から「Hi-CHEW」のオフィシャルSNSへも多くの声が寄せられるなど、米国内での「Hi-CHEW」への注目度はここ1～2年で急速に上昇しています。

米国森永株では田澤投手からの依頼をきっかけに関係性を深めたボストンレッドソックスと、同じくMLBミネソタツインズ、MLBシカゴカブスの3球団と、2014年にスポンサー契約を締結いたしました。米国で最も人気の高いプロスポーツの一つであるMLB球団を協賛することで、さらに多くのお客様に「Hi-CHEW」に親んでいただきたいという考えによるものです。

米国森永株では、「Hi-CHEW」によるファンイベントへの協賛や球場での商品サンプリングを継続的におこなっており、今後もMLBを応援してまいります。



▲レッドソックス選手控室の Hi-CHEW



▲レッドソックス フェンウェイパーク球場